

「家庭學習MGC」實踐例

姶良市立竜門小学校



○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 漢字学習は、インプットとアウトプットを重視した進め方で実施する自分が決めた漢字を覚え、テストとやり直しまでする。（練習→小テスト→正しく丸つけ→やり直し）
 - ★ 自学は、その日の課題を自分で考えさせ、帰りの会までに、自分が家庭学習で何に取り組むかをワークに記入する。（その日の学習の振り返りの中からその日の課題につなげられるようになるのが理想）
 - ★ 基礎・基本の定着のために、演習問題を活用するようにする。
 - ★ 学期1回「家庭学習強調週間」を設定し、家庭学習を親子で振り返る機会を設ける。

○ MGCの取組

【小学4～6年生 竜門小のMGC】

「漢字を通して学習力向上のための家庭学習」

★ポイント



学習力向上のための家庭学習における漢字学習！

本校では、令和4年に「漢字を通した学習力向上の取組」に着手した。児童の学習力を高めるために、一番取り組みやすいと考えたのが漢字学習である。当時児童にアンケートを取ったところ、右の表のように、正しく丸付けができると回答した児童が多くかった。だが、実際丸付けされたものを見てみると、間違えているものも多く、「正しく」丸付けができていた児童は下学年で29%，上學年で55%だということが分かった。複式学習では自分たちで学習を進めていく力が必要である。また、中学生に向けた学習力の向上が必要だと考え、子供たちが自分で計画的に漢字を学習し、目標を達成できることを目的とした漢字学習を始めた。

	下学年		上學年	
	できている	できていない	できている	できていない
丸付けは正しくできているか	78%	22%	90%	10%

テスト 練習



昨年度から3年生以上の宅習ノートを特注で注文し、右のように漢字を練習する場所、テストをする場所、やり直しをする場所と、3つの枠に分かれたものを使用している。

児童は自分が覚えたいと思った漢字を決め、練習を行う（インプット）。練習した漢字をテストする（アウトプット）。そして、テストの漢字を自分で丸付けをして間違えたらやり直しでしっかりと覚える（インプット）。そして、学校での小テストでアウトプットをする。家庭学習でインプットとアウトプットを行うことで、学習の仕方を身に付け、学習力を向上させるねらいで行っている。

児童は自分の目標に向けて取り組むことで意欲が向上し、学校での漢字テストを楽しみにするようになった。また、漢字テストで書けるようになると、他の教科に対する自信にもつながっている。

	下学年		上学年	
	できている	できていない	できている	できていない
丸付けは正しくできているか	78%	22%	90%	10%

テスト 練習

